

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立東山東小学校	青木 茂生
学校所在地		
〒 640-0303 和歌山市山東中52-1 Tel 073(478)0052 fax 073(478)2252 e-mail higashisando@wakayama-wky.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
藤井 正則		教諭・6年担任
〔学校の概要〕 和歌山市の東南に位置する。東は、紀の市貴志川町に接し、南は、海南市に接している。地勢は、東西南北に山があり、盆地の様な形状をしている。また、山野斜面を利用して、みかんを初めとする果樹園や竹の子栽培のための竹林が広がり、平地は、水田が広がる田園風景がある一方、幹線道路沿いには、新興住宅が建ち並ぶ。歴史的遺産には、西に熊野古道、伊太祁曾神社があり、中央部には、足守神社がある。小学校は、児童数160名の小規模校である。子どもの多くは、2世代～3世代が同居する大家族である。穏やかで真面目であるが、自分を表現するコミュニケーション力に欠ける面がある。そこで、異世代（地域の幼稚園、老人ホーム）、異文化（外国人）の方と積極的に交流してコミュニケーション力を高めている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
5, 6 学年 47 名	3 名 職員 3 名	本校・高野山
実践研究テーマ		
地域の歴史を知り、世界遺産を知り、わが郷土のよさを知る。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域の歴史を知り、世界遺産を知り、わが郷土のよさをひろめよう	
〔キーワード〕 熊野古道 世界遺産 足守神社 伊太祁曾神社		
〔単元目標〕 ①地域の歴史を調べることが出来る。 ②地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知る。 ③地域の良さを広めよう。		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 20時間 （「地域の歴史遺産と世界遺産の関係を知ろう。」）6時間		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター ……世界遺産入門 現地学習 和歌山県世界遺産マスター		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	地域の歴史遺産はないだろうか。 ・歴史遺産とは ・どんな歴史遺産があるのだろうか。	・地域の歴史的遺産には、どんな物があるか インターネットや地域の有知識者に聞くようにさせる。	・発言・ノート
2	・熊野古道について調べよう。 ・地域を通る熊野古道が世界遺産であることを知る。	・社会の副読本（ひらけゆく和歌山）やインターネットより調べさせる。 ・世界遺産についてインターネットで調べさせる。	・発言・ノート
3	・世界遺産を感じよう。 ・高野山の素晴らしさを知ろう。	・世界遺産について話を聞いたり、高野山の歴史的遺産を見学したりして、高野山の素晴らしさを感じ取らせる。	・発言・ノート
4	・地域の歴史的建造物（足守神社）が高野山の僧（覚ばん上人）と関係していることを知り、更に調べる。	・足守神社について、インターネットで調べたり、管理している方にインタビューさせる。	・発言・ノート
5	・伊太祁曽神社についてインターネットで調べたり、神社の方にインタビューして神社の歴史を知ったり、神社の祭りに参加したりする。	・神社の祭りには、地域の人々の深い願いがあることを感じ取らせる。	・発言
〔単元学習の成果と課題〕			
・地域学習の中で、熊野古道と足守神社、伊太祁曽神社が中心的な課題になってきた。その中で世界遺産に含まれていることを知り、子ども達は、興味が、世界遺産に繋がった。特に、足守神社と関わりの深い覚ばん上人が、高野山で学んだ人だと聞き、高野山がより身近な所だと感じる様になったと思う。 今後、昔の人の生活や息づかいを感じるには、より体験的に熊野古道を歩くなどして、時間をかけて学習すべきであろう。			
〔世界遺産学習の効果〕			
・地域の歴史的遺産が世界遺産学習と繋がったということである。地域に世界遺産の熊野古道が通っている。地域の神社を高野山のお坊さんが作った。等、世界遺産が身近に感じる様になったということである。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
・歴史は、6年生で学習するが、教科書に載っている人物については、理解しえるが、歴史上の人物や仏教上の意味を理解するのは、難しい様であった。そこで、建造物の説明などは、もっとかみ砕いてわかりやすく説明があればと思いました。			

様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

平成 27 年 9 月より 12 月

地域の歴史的遺産である足守神社である。覚ばん上人が近くの大池を地域住民に造るよう指導した際、住民は、足腰を痛めた。そこで、上人は、この神社を建立し、人々の足腰の痛みを和らぐ様に祈ったとされる。子ども達は、このことを調べ知っていた。高野山で学習した際、覚ばん上人が高野山にいたことを知り、地域の歴史的遺産が高野山と深いつながりがあることを知り、誇りに思う様になった。そこでそのことを物語りにして、「足守神社物語」という題で、和歌山市の暗唱大会で群読で出場した。

平成 27 年 12 月 7 日

世界遺産について学習しました。どのように決めるのか、日本にはどんな世界遺産があるか。また、和歌山県にはどんな世界遺産があるかを学習しました。

また、高野山については、弘法大師の話、三鈷の松の話、寺の成り立ちを学習しました。

壇上伽藍を中心に学習しました。建造物を建てた人の願い、意味を教えて頂いた。